

湯田の風

安心・安全な学校 全国に誇れる学校 地域とともにある学校

令和5年8月31日
湯田中学校だより

第10号

〒753-0065 山口市楠木町7番1号

TEL 083-922-1189

FAX 083-922-1202

発行者 校長 末永 勝明

<https://fa.fureai-cloud.jp/yuda-j/home/index/>



湯田中生 夏休み中も大いに活躍

およそ40日間の夏休みも昨日で終わり、今日は全校生徒が明日の始業式を前に1日早く登校してきました。3年生はさらに一足早く、一昨日から授業が始まっています。今日、1、2年生は夏休みの課題テスト、3年生は習熟度テストがありました。

明日は2学期の始業式が行われます。そして明日から来週にかけては、9月9日（土）に開催される体育祭に向けての準備や練習の日々になります。残暑が厳しい日もあるかと思いますが、熱中症予防には万全を期して生徒の安全を確保しながら、集中して演技の完成度を上げていきたいと思っています。

さて、夏休みも生徒は学校内外のさまざまな活動の中で活躍する場面が多く見られました。夏休みの活動の一部をご紹介します。

レノファ山口「山口市ホームタウンデー」で音楽部が演奏

7月22日（土）、レノファ山口対ブラウブリッツ秋田の試合が維新みらいふスタジアムで行われました。この日はレノファ山口の「山口市ホームタウンデー」として、山口市民を対象にさまざまな企画が実施されました。19時キックオフの試合前には多くのイベントが開催され、屋外特設ステージでは本校と白石中学校の音楽部が合同で合唱を披露し、集まった人々を魅了しました。



小学校の夏休み教室でリトル・ティーチャー

8月1日（火）～3日（木）の午前中、新しくなった湯田地域交流センターで「小学生夏休み教室」が開かれました。およそ延べ60名の中学生が学習支援ボランティアとして参加し、小学生の夏休みの課題学習の支援をしました。教室は全部で3つ。夏休み帳やドリルが主の学習教室、感想画や各種ポスターを描く「絵画教室」、夏休みの課題として出された習字を書く「習字教室」でした。中学生もそれぞれの教室にわかれ、一人ひとりの小学生に寄り添い、熱心に支援する様子が見られました。



第2回学校運営協議会

7月31日（月）に本校の第2回学校運営協議会が開かれました。今回は中学生も参加して学校運営協議会の委員の皆さんと熟議を行いました。熟議のテーマは「学力向上をめざして、学校生活・家庭生活を見直そう」。中学生は、1年生が各学級から2人、2、3年生が各学級から1人の参加が割り当てられ、1学期の終わりにテーマ設定の趣旨を各学級で説明し参加を募り、それに応募した生徒ばかりでした。3つのグループに分かれて行った熟議では、中学生が自分が勉強で困っていることについて、「スマホのゲームをやりすぎというのはわかっているけれどやめられないんです。」など、言葉を飾ることなく、素直な気持ちで語る場面が見られ、どのグループも話し合いが上辺だけのものにならず、深まってきました。大人である協議会委員のみなさんも、中学生の正直な生の気持ちを聞くことができ、今回の熟議が今の湯田中生を理解する上でとても貴重な機会になったようです。



「湯田パトロール」との合同地域清掃活動



8月6日（日）には、「湯田パトロール」とともに地域清掃活動を行いました。参加した中学生は1、2年生を中心におよそ80名。4つのグループにわかれて、県道204号線および200号線沿いのゴミ拾いと除草を行いました。暑さのため、作業は朝の8時30分から1時間程度を予定していましたが、どのグループも「あと少し」と熱心に取り組み、交流センターにもどってきたのは10時前後でした。昨年度から始めたこの取組ですが、本年度は中学生へのご褒美（？）として、サプライズイベントが企画され、作業後にかき氷とすいかが振る舞われました。また、作業を終えて地域交流センターへ帰る途中ではセントコア山口さんから飲み物の差し入れもいただくなど、生徒へたくさんのご厚意をいただき、ほんとうにありがたいかぎりです。心から感謝申し上げます。

このような機会をとおして、中学生自身が「自分も地域の一員である」「自分も湯田の町の役に立っている」といった湯田地域への所属感や存在感、また自己有用感などを育ててほしいと願っています。

このような機会をとおして、中学生自身が「自分も地域の一員である」「自分も湯田の町の役に立っている」といった湯田地域への所属感や存在感、また自己有用感などを育ててほしいと願っています。

